

平成 25 年度 児童・生徒アンケートの結果（概要）

生活習慣について 学習について

朝食を毎日食べている子どもは、80%を超える。

午前7時前に起きている子どもは、55%程度であり、0時すぎまで起きている子どもは10%程度である。

家庭での学習時間は、小・中学校ともに1時間以上2時間未満が最も多い。

1か月の読書冊数は、1～2冊が最も多い。1冊も読まない子どもは20%弱程度いる。

問3 朝食を毎日食べている児童・生徒は、小学校・中学校ともに80%を超えている。

問4 午前7時前に起きている児童・生徒は、小学校では58.9%、中学校では47.0%である。

問5 小学校では、午後11時前に寝る児童・生徒が82.6%であるが、中学校では35.6%である。中学校では、午前0時以降に寝る児童・生徒が25.9%である。

問9 携帯電話やスマートフォンで通話やメールをするのは、小学校では48.2%、中学校では77.6%である。中学校で携帯電話やスマートフォンを持っていないのは12.9%である。

問10 1か月の読書冊数は、小学校・中学校ともに「1～2冊」がもっとも多い。「1冊も読まない」は、小学校では11.0%、中学校では34.7%である。

問14 学校の授業以外の時間に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらい勉強しているかについて、小学校・中学校ともに「1時間以上2時間より少ない」が最も多い。全くしない児童・生徒は、小学校では4.8%、中学校では13.6%である。

問17 家で自分で計画を立てて勉強している児童・生徒は、小学校では56.1%、中学校では32.4%である。

学校生活・友人関係について 進路について

学校に行くのは楽しいと思っている子ども、授業がよく分かっている子どもは共に、85%を超える。

学校のきまりを守っている子どもは、90%を超える。

問20 学校に行くのは楽しいと思っている児童・生徒は、小学校では88.5%、中学校では84.8%である。

問21 学校の授業はよくわかっている児童・生徒は、小学校では90.0%、中学校では75.3%である。

問23 学校の決まりを守っている児童・生徒は、小学校では90.2%、中学校では92.8%である。

問25 自分の考えや気持ちを理解してくれる友達がいる児童・生徒は、小学校では89.7%、中学校では89.2%である。

問26 将来の夢や目標をもっている児童・生徒は、小学校では89.7%、中学校では74.2%である。

市民科学習等について

市民科の学習を大切だと思っている子どもは、80%以上である。

人の気持ちが分かる人間になりたい、いじめはどんな理由があってもいけない、人の役に立ちたいと思っている子どもは、90%以上であるが、リーダーとして引っ張っていく自信のある子どもは、50%程度である。

問31・32 市民科の学習は大切だと思っている児童・生徒は、小学校で88.6%、中学校で72.6%である。

問33・34 人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている児童・生徒は、小学校・中学校ともに95%を超えている。

問 34・35 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている児童・生徒は、小学校・中学校ともに 90%を超えている。

問 35・36 人の役に立つ人間になりたいと思っている児童・生徒は、小学校・中学校ともに、90%を超えている。

問 36・37 リーダーとして周りの人をまとめて引っ張っていける自信がある児童・生徒は、小学校では 61.0%であるが、中学校では 38.4%である。

英語学習について

英語の学習が大切だと思っている子どもは、90%程度であるが、英語の学習が好きな子どもは、70%程度である。

外国人と友達になったり、外国のことについて知りたいと思っている子どもは70%以上であるが、外国に留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思っている子どもは50%程度である。

問 39・40 英語の学習が好きな児童・生徒は、小学校で 76.5%、中学校で 59.2%である。

問 40・41 英語の学習が大切だと思っている児童・生徒は、小学校では 91.7%、中学校では 85.9%である。

問 41・42 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思っている児童・生徒は、小学校では 78.9%、中学校では 66.8%である。

問 42・43 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事についてみたいと思っている児童・生徒は、小学校では 51.7%、中学校では 43.5%である。

パソコンやインターネットについて

コンピュータや電子黒板を使った授業をわかりやすいと思っている子どもは65%以上である。そのような授業を受けたことがない子どもは20%程度である

問 44・45 コンピュータや電子黒板を使った授業をわかりやすいと思っている児童・生徒は、小学校・中学校ともに 65%を超えている。ただし、「そのような授業を受けたことがない」と回答した児童・生徒が小学校では 22.1%、中学校では 18.2%いる。

問 46 (中のみ) インターネットの利用目的は、「WEBページの閲覧」が最も多く 69%を超えている。次いで、ゲームが 49.9%である。

地域参加について

地域行事に参加している子どもは60%程度であり、ボランティアに参加している子どもは50%強である。地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある子どもは70%程度であるが、地域社会をよくするために何をすべきか考えている子どもは、60%以下である。

近所の人に挨拶をしている子どもは80%以上である。

問 45・50 今住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒は、小学校では 69.0%、中学校では 47.1%である。

問 46・51 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童・生徒は、小学校では 73.2%、中学校では 63.8%である。

問 47・52 地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童・生徒は、小学校では 60.9%、中学校では 48.2%である。

問 48・53 ボランティア活動に参加したことがある児童・生徒は、小学校では 47.0%、中学校では 65.6%である。

問 49・54 近所の人に出会ったときに、挨拶をしている児童・生徒は、小学校で 88.8%、中学校では 83.8%である。